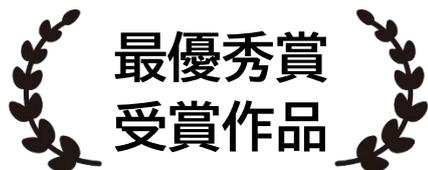


第14回 令和6年度 (2024年度)

サイボラーエッセイコンクール



編集・発行 札幌国際大学図書館
令和7年(2025年)1月

目次

サイブライコンクール 各賞受賞の皆様へ	1
応募総数	3
受賞者一覧	4
表彰式の様子	5

書評

最優秀賞 何者でもない私たちへ	吉本 さくら 8
優秀賞 紙の中で生きている。	畠山 莓花 10
優秀賞 なにごともなく平穏な日々とは何か	澤口 菜々美 12

評論

優秀賞 近代化過程における民族国家の国家認識	鄭 鈞文 15
優秀賞 理性について	田中 唱 18

POP

最優秀賞 『同姓同名』 下村 敦史 著	天満谷 心 22
優秀賞 『リアル鬼ごっこ』 山田 悠介 著	對馬 柚子 23
優秀賞 『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野 圭吾 著	鈴木 美優 23

サイブライコンクール 各賞受賞の皆様へ

本から広がる未知なる世界 本はどこでもドア

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部学長 蔵満保幸

第14回サイブライコンクールに、書評166編、評論5編、POP部門300点と多数の応募をいただきありがとうございました。受賞された皆様おめでとうございます。

ここ数年この原稿で若者の本離れについて話題にしています。その中で若者が本を読まない理由を紹介しました。再掲載します。

1. 辛いから

読書は勉強の延長であり、無理やり本を読まされた苦行が原体験にある。

2. 時間がもったいない

読書は時間がかかる。1冊読むだけでも数時間かかる。

3. 楽しくないから

読書はゲームほど楽しくない。

4. 書き手が知らない人だから

よくわからない人の意見をいちいち聞かなくてはいけないのか。

5. ネットの方が便利だから

本の中身を知りたいければまとめサイトなどを見ればよい。

この理由、学生の皆さんはどう感じますか。文字（特に小説）を読んでその文字から自分の頭（大脳）で文字から画像（映像）に変換し、自分で想像した世界に自分が入り込んでいく面白さを体験したことはありませんか。子どもの頃に夢中になった絵本など思いだしてください。楽しかったですよね。

現在ゲーム依存で生活に支障をきたしている人が全国で約95万人超とされています。WHOは2019年オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を新たな依存症として認定しました。読書はこのゲーム障害を軽減させるのに効果があると言われています。自分の頭で文字から画像、そしてその世界を広げることが脳の活性化に良いのですね。

本はいつでもどこにでも私たちを運んでくれる「どこでもドア」だと思いませんか。皆さん自分オリジナルの「どこでもドア」作りをして人生を豊かにしてください。

「読書のちから」

総合情報館・図書館長 高橋 伸

人はなぜ本を読むのか。

その問いに答えた言葉はたくさんありますが、今、たまたま手元にある本から引用してみましよう。

読書というのは、振り子です。たとえ古い本であっても、過去に、過ぎた時代のほうに深く振れたぶんだけ、未来に深く振れてゆくのが、読書のちからです。そういう読書のちからを取りもどす。思いだす。あるいは、自分のなかに確かめる。そうした未来に振れてゆく読書のちからが、いまもほんとうは求められているのではないのでしょうか。

長田弘『なつかしい時間』

人はなぜ本を読むのか。

その答えにぜひとも加えたい素敵な言葉に出会いました。それはコンクールの表彰式での、ある受賞者の言葉でした。

本を読むことは走ることにプラスとなっている。

授賞式に参加している人々が、この言葉に衝撃を受け、感銘を受け、また動揺していることが、ひしひしと伝わってきました。全国大会の舞台上で活躍するその人の走りを、本が支えていることを知った驚き、そして喜びです。

大谷翔平は自身の目標をつづるシートに、渋沢栄一の『論語と算盤』を読むと書きました。アスリートがパフォーマンスを高めるために読書のちからを重要視していることは、とても嬉しいことです。

自分の将来の夢に読書は関係ない、それよりも他にすることがある。ふだんはそんなふうを考えているのに、なぜだかこの冊子を読んでいるあなた。あなたの目標を達成するために読書のちからを活用しようではありませんか。

応募総数

計 471 点

書 評

国際教養学科	54
心理学科（臨床心理専攻）	66
心理学科（子ども心理専攻）	36
総合生活キャリア学科	1
幼児教育保育学科	9
合計	166

評 論

現代文化学科	4
心理学科（子ども心理専攻）	1
合計	5

P O P

現代文化学科	1
国際教養学科	34
心理学科（臨床心理専攻）	30
心理学科（子ども心理専攻）	62
観光ビジネス学科	39
スポーツビジネス学科	56
スポーツ指導学科	76
総合生活キャリア学科	1
幼児教育保育学科	1
合計	300

全部門を合わせた応募総数

大 学	現代文化学科	5
	国際教養学科	88
	心理学科（臨床心理専攻）	96
	心理学科（子ども心理専攻）	99
	観光ビジネス学科	39
	国際観光学科	0
	スポーツビジネス学科	56
	スポーツ指導学科	76
大学合計		459
短 大	総合生活キャリア学科	2
	幼児教育保育学科	10
短大合計		12
応募総数		471

受賞者一覧

◆ 書 評 ◆

賞	学 科	学 年	氏 名
最優秀賞	国際教養学科	1	吉本 さくら
優秀賞	国際教養学科	1	畠山 莓花
優秀賞	心理学科 臨床心理専攻	1	澤口 菜々美
佳作	国際教養学科	1	鈴木 愛梨
佳作	国際教養学科	1	山川 穂乃花
佳作	心理学科 臨床心理専攻	1	高橋 海翔
佳作	心理学科 臨床心理専攻	1	森川 陽平
佳作	幼児教育保育学科	1	佐藤 紀乃花
奨励賞	国際教養学科	1	久保田 光
奨励賞	心理学科 子ども心理専攻	1	小澤 楓華
留学生特別賞	国際教養学科	3	傅 鈺婷
留学生特別賞	国際教養学科	1	金 仁洙

計 12 名

◆ 評 論 ◆

賞	学 科	学 年	氏 名
優秀賞	現代文化学科	4	鄭 鈞文
優秀賞	心理学科 子ども心理専攻	2	田中 唱

計 2 名

◆ POP ◆

賞	学 科	学 年	氏 名
最優秀賞	国際教養学科	2	天満谷 心
優秀賞	国際教養学科	2	對馬 柚子
優秀賞	総合生活キャリア学科	1	鈴木 美優
佳作	心理学科 子ども心理専攻	2	齊藤 菜羽
佳作	心理学科 子ども心理専攻	1	原田 凧
佳作	観光ビジネス学科	1	浅野 陽斗
佳作	観光ビジネス学科	1	角田 謙芯
佳作	観光ビジネス学科	1	福井 雅
佳作	幼児教育保育学科	2	横田 花恋

計 9 名

表彰式の様子

令和6(2024)年12月11日(水) 図書館「黎明」にて



(左から) 高橋館長・鄭さん・天満谷さん・鈴木さん・吉本さん・畠山さん・澤口さん・蔵満学長







書評部門

最優秀賞

何者でもない私たちへ

国際教養学科 1年
吉本 さくら

この度はサイブライリーコンクールで書評部門 最優秀賞を受賞することができて本当に嬉しく思います。ありがとうございます。これからも本を通して価値観や考え方を深めていきたいと考えてます。

「書評対象図書」



『人間』

又吉 直樹<著>

毎日新聞出版, 2019年

「自分は人間が拙い」この作品の中心にある言葉だ。

あなたは何者ですか？学生ですか？教師ですか？それともただの人間ですか？この質問に対する答えは人の数だけあるだろう。私たちは何者かになる将来を見据える。ただ、何になっても原点は人間であることだ。この小説は何者かになることの難しさ、何者でもないことを受け入れることの大切さを教えてくれた。

この本は何者かになることを夢見た人間の青春と痛恨の出来事とその後の何者

にもなれなかった今を照らし合わせながらこれからを見つめていく物語だ。

あらすじはこうだ。主人公の永山は、38歳の誕生日に古い友人から一通のメールを受け取る。そのメールのタイトルには「踏むことのなかった犬のクソみたいな人生（笑）」とあった。読んでみると、どうやらともに青春時代を過ごしたハウスの仲間がひと騒動起こしているみたいだということがわかった。ハウスとは、芸術家の卵たちが集う創作と議論の場所。永山は若すぎたあの頃を思い出す。漫画家を目指していたこと、出版のチャンスに恵まれたこと。だんだんとハウス内でわだかまりが生じ、痛すぎる事件が起こったこと。

この小説の面白いところは、著者が芸人なこともあいまって芸人の独特な表現と作家の緻密な表現の二つが混合している点だ。加えて登場人物に著者の経験を取り入れることで作品の、内側の世界と外側の世界が曖昧になり、よりリアルな状況を読み手に与えている点だ。

また、作中の「人は肩書きに敏感である。わからないものを排除したいという恐怖があるからだ。だから、“こうあるべきだ”と強制し、推し並べようとする。」という言葉に深く考えさせられた。SNSのコメントやツイートはもはや日記のように時間など関係なく一生残り

続ける。そんな時代で「人は簡単に人を書いてしまう」のだ。人は他人の表面だけを切り取り、自分の知らない部分にラベルを貼る。そして、人の人格を作り上げてしまうのだ。人間の本質は SNS に書いたり見たりできるものではなく、実際に触れて感じていくことでやっと辿り着けるのだと強く感じた。「信じる」力を無意味に感じてしまう不信が溢れるこの世界。しかし疑うだけでは前に進めない。だからこそ「信じる」力の価値観を見直すべきだと気づいた。

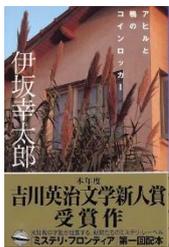
気軽には読めない本かもしれない。しかし、読み終わった時には人間の不器用さを知り、それを受け入れることができるはずだ。大切なことは、これから私たちは何を選択しても、なにを信じてもいい。“それでもいい”ということだ。

優秀賞

紙の中で生きている。

国際教養学科 1年
畠山 苺花

《書評対象図書》



『アヒルと鴨のコインロッカー』

伊坂 幸太郎<著>
東京創元社, 2003年

本書は、私が敬愛している小説家、伊坂幸太郎による青春ミステリー小説である。

私は、進学してから、長距離通学をしている。それに伴って、暇な時間ができたため、通学中は読書することにした。そんな時に出会ったのが、この本である。

「一緒に本屋を襲わないか？」

進学して、一人暮らしを始めた椎名は、隣の部屋に住む河崎という男に奇妙な提案を持ち掛けられる。彼曰く、隣の留学生が彼女と別れてひどく落ち込んでいるそうで、元気づけるために広辞苑をプレゼントしたいそうだ。(何を言っているのかわからないのは、あなただけ

ではなく、椎名も同じ気持ちであるから、安心してほしい。) 椎名は彼の謎の提案に不信感を抱いたが、あれよあれよという間に、椎名は目的の本屋の裏口にモデルガンを持って立つことになるのである。

椎名が語るのは現在視点で、章ごとに過去と現在を行き来する仕組みになっている。過去編では、正義感の強い女性、琴美と、留学生のドルジ、そして河崎が主軸となって展開する。

本書の魅力は、登場人物のキャラクターと、その書かれ方である。私が好きなのは、本書のコミカルを生み出している、ドルジと河崎だ。留学生のドルジは、片言感を出すために、セリフに読点やカタカナが多い。例えば、

「まだ、話、したいです。」

というセリフ。セリフだけで、おぼつかない日本語で必死に話しているドルジの映像が脳内に再生される。わからない言葉が会話に出てきたときには、漢字が想像できないため、広辞苑を「コジエン」、浮気性を「ウワキショウ」と言う。このように、人物の特徴や性格が細かくわかるような工夫が各所でされている。そして、河崎。彼の登場シーンで印象に残っているのは、

「俺はね、付き合った女性の誕生日で、三百六十五日を埋めるのが夢なんだよ。」

元日から大晦日まで、ありとあらゆる誕生日の女の子と交際する。」

というセリフだ。ドルジの言葉を借りるならば、彼は「ウワキショウ」なのである。しかし彼曰く、鼻の長い象は鼻をホース代わりに、キリンは長い首を使って高いところの木の実を食べるように、容姿に恵まれた自分は世の中の女性という女性と可能な限り交際するべきだ、とのこと。なるほど、と妙にまじめにつらつら話すため感心しかけたが、無茶苦茶なことを言っているということに後で気付いた。ほかにも数々の名言を残しているので、ぜひ注目してみてほしい。

紙きれに印刷された文字から、ドルジが、河崎が、実際に存在しているかのよう活動する。本書の登場人物は、生きているのである。彼らに会ってみたいという人は、ぜひ、「アヒルと鴨のコインロッカー」を読んでみてほしい。

優秀賞

なにごともなく平穏な日々とは何か

心理学科 臨床心理専攻 1年
澤口 菜々美

《書評対象図書》



『なにごともなく、晴天。』

吉田 篤弘<著>
中央公論新社, 2023年

今日は特に大きな出来事がない1日だった、と考えるときが私にはよくあるが、何も無い日というのは存在しないのかもしれない。

吉田篤弘が著者である小説、『なにごともなく、晴天。』を読んでそう考えさせられた。本書は、鉄道の高架下商店街を舞台にしている。そこで働く主人公の美子が、ある日探偵と出会う。その話を聞いた、美子と同じ商店街で店を営む人たちが、「じつはね」と自身の秘密を語っていく、という物語である。

初めに書いたことを感じたきっかけは、本書の中にある、「なにごともなく平穏無事な日々というものは、多くの人たちの『じつはね』で成り立っている。この世の平穏は、多くの人たちのやせ我

慢と隠しごとと沈黙で出来ているのだ。」という文だ。自分では特に何もなかったと思っても、周りでは何かしらの出来事は起こっているし、それぞれ隠しごとがあるのかもしれない。本書では、町の人が秘密を話したことをきっかけに、前に進もうとしている箇所がある。この部分は、1歩踏み出すことができない人の背中を押してくれると感じた。また、「それでも、空が晴れていれば、まあ、なんとかなるかなあって、気持ちも晴れてくる」という部分も心に残った。この台詞は、高架下で空が見えない中言われている。自分の思うようにいかない出来事があっても、天気が晴れだという、日常にあることから勇気をもらうことができるのだと考えた。

私はこの小説を、本を読むのが苦手だと感じている人に薦めたい。本書は、毎日新聞社の『サンデー毎日』という週刊誌で連載されていた小説が文庫本となったため、各章10ページずつとなっている。短編小説のようだが、全てが繋がって1つの話になっている。読む場所の区切りをつけやすいため、飽き性な私でも読むことができた。また、物語の内容が日常に近いのも親しみやすい。もしこの小説を読んだら、著者が最後に記したあとがきにも目を通してほしい。物語ができた背景や、タイトルの深い意味を知る

書評部門

ことができる。あとがきを読んでからもう1度本編を読み直すと、改めてなにごともない日常の大切さに気づくことができるはずだ。



評論部門

優秀賞

近代化過程における民族国家の 国家認識

現代文化学科 4年
鄭 鈞文

I はじめに

明治維新と洋務運動は、19世紀後半における日本と中国のそれぞれの近代化運動であり、両国は共に西洋列強の圧力に応じて自国の体制を変革しようとした。しかし、一般的に学者の間では、廃藩置県は比較的的成功であるとされ、一方で洋務運動は失敗であると評価されている。なぜそのような評価がなされているのか？本論文では、これらの政策を比較し、それが国家認識の形成に与えた影響を考察する。

II 廃藩置県による日本の中央集権化と国家認識の形成

1868年、維新政府が成立した後、国家の統一と安定を実現するために地方の整理が開始された。廃藩置県の決定は、鳥尾小弥太と野村靖が山県有朋の麴町屋邸での対話中に「封建を廃止し郡県の治」というテーマに移ったことが直接の引き金となった(1)。1871年、明治政府は廃藩置県を断行し、藩主が支配する封

建的な藩を廃止し、藩を県に再編成した。この政策の主な目的は、地方の藩主が持っていた自治的な権力を中央政府に集中させ、統一された国家体制を作ることであった。これにより、地方の統治は明治政府の直接支配下に置かれ、中央集権化が進められた。

廃藩置県による封建制度の解体は、近代国家としての日本の一体感を形成する重要な一歩となった。それまでの藩ごとに異なる政治体制から、中央政府によって統一された行政区分へと移行することで、人々は「日本」という一つの国家に属しているという意識を持ち始めた。また、国家が主導する教育制度や徴兵制などの導入によって、国民全体が「国民」という共通のアイデンティティを持つようになり、国家認識が強化された。

廃藩置県による中央集権化は、日本の経済的・軍事的近代化を推進するための基盤となった。藩という地方勢力が排除されたことで、全国的な政策が一貫して実施されるようになり、国家としての一体性が高まった。これにより、近代日本の国家認識は強化され、特に外圧に対抗するための軍事力増強や産業の発展が進展した。

III 洋務運動における中央集権化の限界

第二次アヘン戦争(1860)後、清朝は内外の困難に直面した。開明的な官僚たちが西洋の先進的な生産技術を利用して、富国強兵を図り、困難を乗り越えて清朝の統治を維持しようと主張した。これらの官僚は「洋務派」と呼ばれる。洋務派は曾國藩、李鴻章が代表となった。

1860年代から90年代にかけて、彼らは「自強」と「求富」をスローガンに、「師夷長技」の洋務運動を展開した(2)。しかし、これらの改革は技術的な側面に重点が置かれ、政治体制や社会制度の変革には至らなかった。

洋務運動の改革は、地方有力者が主導する形で行われたため、地方分権的な体制が維持された。李鴻章や左宗棠といった地方官僚が実権を握り、地方の軍事力や財政を支配していたため、中央政府は彼らに依存せざるを得なかった。このため、清朝の中央集権化は不完全であり、地方勢力の自立性を排除することができなかった。皇権の強化は部分的なものに留まり、国家全体の統一的な支配体制は確立されなかった。

洋務運動では、一部の技術的成功にもかかわらず、国家としての統一的な国家認識が形成されることはなかった。地方の豪族や官僚が依然として強い自立性を持ち、国民全体が「清朝」という国家のもとで一体感を持つことはなかった。こ

の結果、国家認識が希薄なまま改革が進められたため、洋務運動の成果は一時的なものに終わり、最終的には日清戦争(1894年)の敗北によってその限界が露呈した。

IV 国家認識の重要性

廃藩置県と洋務運動は、いずれも中央集権化を目指したが、両者の結果は大きく異なる。廃藩置県は、日本が封建的な地方権力を完全に解体し、強力な中央集権体制を築いた。一方、洋務運動は地方官僚の権力が維持され、皇権の強化が部分的にしか達成されなかった。この違いが、日本における一体的な国家認識の形成と、中国における国家認識の欠如という結果をもたらした。

国家認識の確立は、近代化において極めて重要な要素である。日本では、廃藩置県を通じて国民全体が共通のアイデンティティを持ち、国家全体が近代化に向けて一体となる意識が形成された。これにより、日本は西洋列強の圧力に対抗し、独自の近代化路線を推進することができた。

V まとめ

以上において、廃藩置県と洋務運動の最終的な結果が大きく異なる理由は、国家認識が形成されたかどうかにある。維

新政府の目標は「日本をより強くする方法」である。廃藩置県によって国民が「日本」という国家のもとで一体感を持つようになり、その結果、近代化に向けた様々な改革が成功裏に進められた。一方で、清政府は洋務運動を「清王朝の統治を強化する」という目標で行った。国家認識が統一されることなく、地方の利害関係が優先され、国家としてのまとまりが欠如していた。このため、技術的な進歩が見られたにもかかわらず、持続的な近代化には至らなかった。国家認識が形成されないままでは、国民が改革を支持し、一体となって進めることが困難である。

近代化の過程において、「国家利益」を新しい社会の共通認識とし、国家認識を形成することが鍵である。政府が国家利益を出発点として問題解決を図るとき、国民はリーダーの指導に従いつつ、自国をリーダーと共に築くことができる。最終的な課題は「どのように国民をより幸福にするか」であり、「どのように国民をより従順にするか」ではない。

参考文献

- (1)『岩波講座 日本歴史 第十五巻 近現代 1』(2014年、岩波書店)
- (2)教材研究所『中国歴史』(2006年、人民教育出版社)

優秀賞

理性について

心理学科 子ども心理専攻 2年
田中 唱

1. はじめに

古来より、哲学において理性主義的な発想は切っても切り離せないものであった。たとえば、かつてギリシア思想では、物事の本質や真理を客観視（テオリア）するために理性（ロゴス）の力が信じられていた。一方、現代においても、理性は必要条件だと信じられている。われわれは、物事を冷静に判断するために理性を使用し、道徳的に善い行いをするためにも理性を使用すると考える。つまり、理性は人間が人間らしく生きる条件ともいえるだろう。

しかし、理性を正しく用いることで、本当に客観視（テオリア）することや、人間らしく生きることができるようか。また、理性を用いて善悪の判断を行えるのだろうか。

2. 純粋理性批判

ドイツの哲学者であるイマヌエル・カントは著書『純粋理性批判』の中で、理

性は人間の認識の仕組みを紐解くと、理解することが可能であると述べている。

まず、人間は感性・悟性・理性を用いて認識をするという。感性には、直観から得た実体や色、硬さなどの経験に基づく感覚と、時間と空間の経験に基づかない感覚がある。次に、それらの感覚を、悟性というカテゴリーに統一することで認識が成立する。最後に、理性にはその認識から思惟をする能力がある。たとえば、感性は、透明でガラスのようなものという直観と、今（空間）ここ（時間）にあるという直観を知覚する。その知覚を、悟性は私が水を飲んだという原因性と、水を飲んだからコップが空であるという結果性にカテゴライズする。この認識から、理性はコップに新たに水を注ぐことや、コップを洗うことなどの行動原理に働く。つまり、カントはあるがままの対象の在り方がそのまま主観に認識されるという考え方を否定し、主観の認識の仕方によって対象の現れ方が決まると考えたのである。

しかし、カントは、「我々は可能的経験の対象についてしか、アプリアリな認識をもつことができない」※¹（p.205）と、理性の限界についても指摘している。それは、神や世界の存在、勇気や知恵などの、時間と空間の直観に当てはまらなかったり、悟性でカテゴライズでき

なかったりするものである。このことから、われわれは不完全な主観の受け取り方によって、抽象的かつ概念的感覚を認識しているため、理性の力で善悪の認識はできないはずである。また、かつて勇気やリーダーシップという抽象を理性の力を使用して民衆を惹きつけたヒトラーは、善い結果を起こすことには繋がらず、歴史的な大戦争である第二次世界大戦を引き起こした。つまり、理性は必ずしも善いことには繋がらないといえる。

3. 定言命法

カントによれば、理性を用いることで客観視（テオリア）することや、人間らしく生きることは、認識が対象に従うのではなく、対象が認識に従うため難しいことが分かった。換言すれば、理性のうちで認識できることと、認識できないことがあるため、理性の力は、普遍的な善を計る基準とは言えないはずであるということだ。しかし、カントは、理性の正しい力は、理性を道徳的に善いことに用いようとする努力であると言及している。

カントは、理性には限界が存在するが、人間は従うべき道徳的な法則があると考えた。この道徳的法則は「～せよ」という形で表され、定言命法と呼ばれ

る。一方、「もし…ならば、～せよ」という条件付きの命令は仮言命法という。たとえば、「遅刻するけどもっと寝たい」という条件があるとする。定言命法は、「遅刻してはいけないから起きよ」という義務による道徳的意思が存在し、仮言命法は、「先生に叱られたくないなら起きよ」という他者の命令に従うなどである。これは、定言命法が動機の道徳的善であり、行為の結果の道徳的善ではないことを表している。つまり、理性の力とは、理性が、定言命法な自分のルールに従う自律かつ良心の声を動機として働くための努力だといえる。

4. 私が考える理性とその影響

私は、理性について、人間が認識能力の制約の中で、道徳的思惟をできる能力だと考える。だが、そこに絶対的な人間だけが持つ理性の力という理想は存在しない。なぜなら、カントが示した通り認識の仕組みは主観の認識によって決定され、その認識を道徳的に用いることは個人の努力である。換言すると、理性の正しさとは、あくまで主観的認識によって作用されるということだ。

また、私は理性の力が価値観に影響を与えると考える。理性があるからこそ、人間らしさや、さまざまな人間の差異が

生まれるのではないだろうか。主観的認識である理性が、人間間の個性や違いを必然的に生み出し、多様化した社会を形成する。特に昨今では、人種や国籍、性的嗜好、障害の有無などの隔たりをなくそうとする、多文化共生社会を目指している。その本質は、われわれの「理性が善」という過大評価から抜け出すことができた時、共生理解を深めるきっかけの一つになるのではないだろうか。

参考文献・引用文献

- ・※1 著:イマヌエル・カント/訳:篠田英雄(1961-62)『純粹理性批判 上』岩波文庫
- ・第一学習社編集部(2013)『最新倫理資料集』第一学習社



POP 部門

最優秀賞

同姓同名

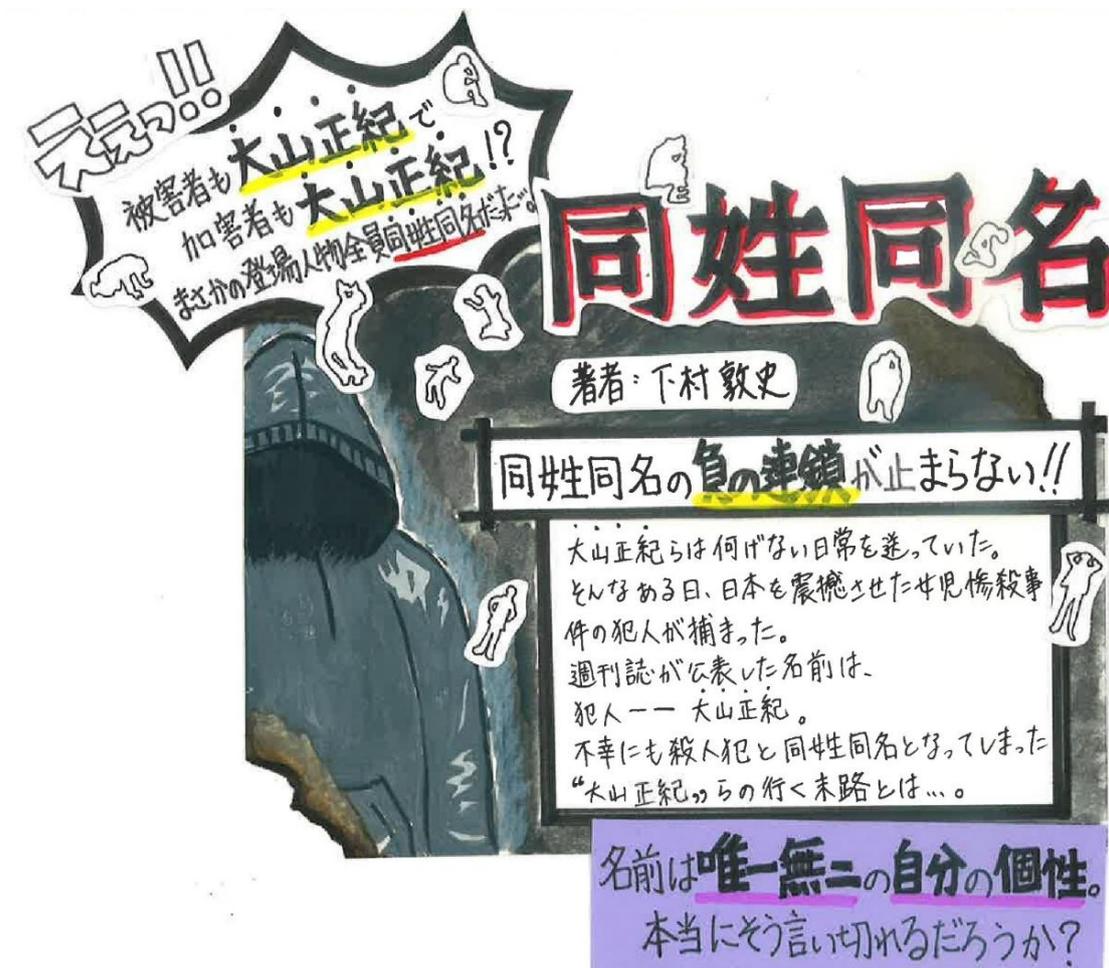
国際教養学科 2年
天満谷 心

「POP 対象図書」



『同姓同名』

下村 敦史<著>
幻冬舎, 2020年



去年に引き続き最優秀賞を受賞できたこと大変嬉しく思います。

今年は様々なことに挑戦することが多く、つまづいてしまったとき、本に支えられ、沢山のことを気づかせてくれました。

今後も本を支えに文武両道、更なる成長をしていきたいです。

優秀賞

リアル鬼ごっこ

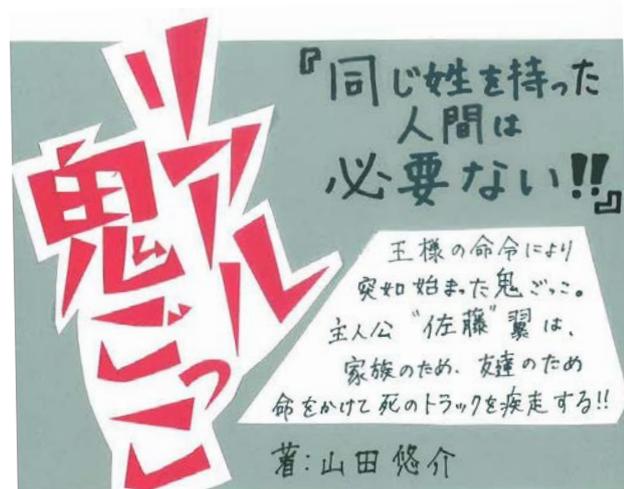
国際教養学科 2年
対馬 柚子

《POP 対象図書》



『リアル鬼ごっこ』

山田 悠介<著>
文芸社, 2001年



優秀賞

ナミヤ雑貨店の奇蹟

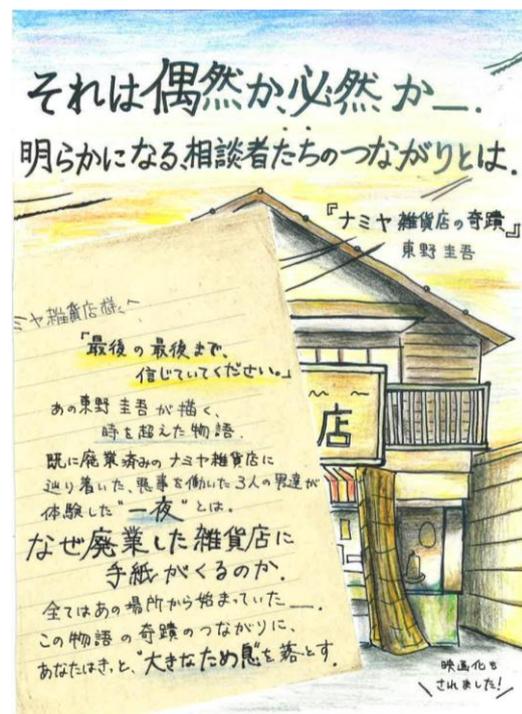
総合生活キャリア学科 1年
鈴木 美優

《POP 対象図書》



『ナミヤ雑貨店の奇蹟』

東野 圭吾<著>
角川書店, 2012年



2024 年度から書評・評論コンクールは**サイブラリーコンクール**に名称を一新しました。
「サイブラリー」とは、「Kokusai Library」の一部を略した言葉です。

図書館発行誌『Pensée』について

『Pensée』とはフランス語で「パンセ」と読み、哲学者パスカルの有名な言葉
「人間は考える葦(= roseau pensant)である」の「考える(penser)」から名づけられました。

Pensée 特別号

第 14 回 サイブラリーコンクール 令和 6 年度(2024 年度) 最優秀賞・優秀賞受賞作品
令和 7 年(2025 年)1 月 発行

編集・発行 札幌国際大学図書館

〒004-8602 札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4 - 1

T E L : 011-881-6722

E-mail : toshokan@siu.ac.jp

※作品は作者の表現を尊重するため、原文のまま掲載しております。
無断での転載・複写を禁じます。